

量子生命科学研究会 第2回学術集会

平成30年5月10日(木)
東京大学弥生講堂一条ホール

東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学農学部内
東京メトロ「東大前」駅下車 徒歩1分

「量子生命科学」とは、最先端の量子技術と量子科学の知見を総合的に利用して生命の本質に迫ろうとする、まだ立ち上がったばかりの新しい研究分野です。専門を問わず、幅広い研究者のご参加をお待ちしています。

- 10:00 ~ 10:10 会長挨拶 平野俊夫 (量研 理事長)
- 10:10 ~ 10:20 来賓挨拶 佐野太 (文部科学省 科学技術・学術政策局長)
- 10:20 ~ 10:55 基調講演1 「クライオ電子顕微鏡、X線散乱、超解像蛍光顕微鏡で明らかになったクロマチンの構造とダイナミクス」
前島一博 (国立遺伝学研究所 構造遺伝学研究センター)
- 10:55 ~ 11:30 基調講演2 「ダイヤモンド NV 中心を使った量子センシングの分子・細胞生物学への応用」
白川昌宏 (京都大学大学院工学研究科)
- (昼 休 み)
- 12:40 ~ 13:00 「量子ビーム (X 線と中性子) を相補的に利用した酸化還元タンパク質の高分解能立体構造解析」
平野優 (JST さきがけ、量研 東海量子ビーム応用研究センター)
- 13:00 ~ 13:20 「局在量子構造を利用した革新的触媒の開発」
八巻徹也 (量研 先端機能材料研究部)
- 13:20 ~ 13:40 「SPICE-NIRS マイクロビームが先導する放射線生物学 (Single Cell Radio-Biology)」
小西輝昭 (量研 放射線障害治療研究部)
- 13:40 ~ 14:00 「DNA の励起・イオン化状態からのエネルギー緩和過程」
島田紘行 (高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所)
- 14:00 ~ 14:20 「生命機能に迫る相関構造解析の最前線」
山本雅貴 (理研 放射科学研究センター)
- (休 憩)
- 14:35 ~ 14:55 「SACLA を用いた液中試料のコヒーレント回折イメージング手法の開発」
木村隆志 (北海道大学 電子科学研究所、JST さきがけ)
- 14:55 ~ 15:15 「光を用いたバイオセンシング - 血糖・血液凝固・キラルガス -」
瀬山倫子 (日本電信電話株式会社 NTT 先端集積デバイス研究所)
- 15:15 ~ 15:35 「NV センタデルタドープ薄膜による生体分子解析」
石綿整 (JST さきがけ、東京工業大学工学院電気電子系)
- 15:35 ~ 15:55 「量子制御 MRI の構築を目指して」
青木伊知男 (量研 QST 未来ラボ / 分子イメージング診断治療研究部)
- (休 憩)
- 16:10 ~ 16:45 特別講演 「JST さきがけ”量子技術を適用した生命科学基盤の創出”第2期募集について」
瀬藤光利 (浜松医科大学、さきがけ「量子技術を適用した生命科学基盤の創出」研究総括)
- 16:45 ~ 17:35 ポスター発表 (ホールロビー)
- 17:35 ~ 17:45 閉会挨拶

